

②日本分類

86(4)C 152.1

④日本国特許庁

公開実用新案公報

①実開昭49-87210

庁内整理番号 6434-22

④公開 昭49(1974).7.29

審査請求 未請求

④吸音板

②実 願 昭47-131086

②出 願 昭47(1972)11月16日

②考 案 者 向井泰造
西宮市広田町12の26

②出 願 人 帝人株式会社

大阪市北区梅田1

②代 理 人 弁理士 前田純博

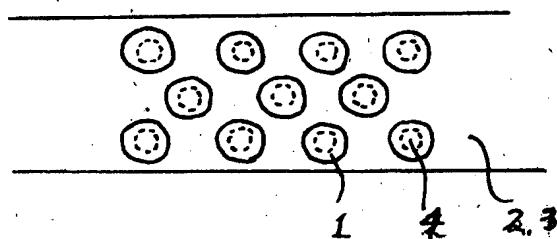
④実用新案登録請求の範囲

少なくともエンボス凹凸部が10mm~100mmのエンボス加工を施した不織布の両面に他の不織布を接合一体化した吸音板。

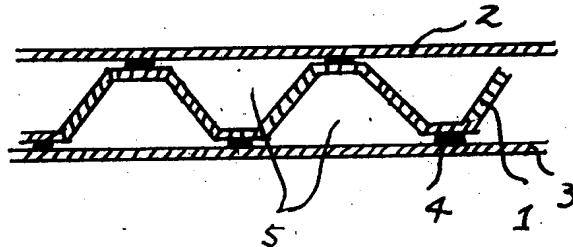
図面の簡単な説明

第1図は本考案の吸音板の1例の表面に平行な断面図であり、第2図はその部分拡大断面図である。1……エンボス加工された不織布、2,3……上下面に接着せる不織布、4……1と2,3の接着部、5……空気層。

ヤ1図

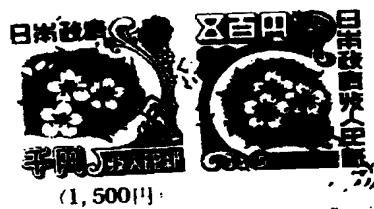


ヤ2図



公開実用 昭和49-

87210



後記号なし

実用新案登録願(4)

昭和47年11月16日

特許庁長官殿

1. 考案の名称

キュウ オン ベン
板書板

2. 考案者

ニシミヤシヒロ タチヨウ
兵庫県西宮市広田町12-26 向井泰造

3. 実用新案登録

出願人

大阪市北区梅田1番地

(300) 帝人株式会社

代表者 大星晋三

4. 代理人

東京都千代田区内幸町2丁目1番1号

(飯野ビル)

帝人株式会社

(6572) 井理士幹 熊 弘

連絡先 (506) 4481 高山

勇

特許庁長官

1)	細	書	1 通
2)	面		1 通
3)	券	付	1 通

特許庁

47.11.16

出願第二課

北沢

方審式登

47 13103 1 - 1

明 碑 告

1. 考案の名称

吸 音 板

2. 対用新案登録請求の範囲

少なくともエンボス加工凸部が10mm～100mmのエンボス加工を施した不織布の両面に他の不織布を接着一体化した吸音板。

3. 考案の詳細を説明

従来防音を目的とした吸音方法、吸音材等は種々試みられ、実施されているが本考案も該目的を達する為の吸音板に関するものである。

本考案を図面により説明する。

第1図及び第2図に示す如く略高さ一定の凹凸が多段階われる如くエンボス加工を施した不織布1の両面の上下面に他の不織布2,3を接着剤4その他の手段によつて接着一体化することにより上り空気層5を存在せしめることにより優れた吸音板を形成せしめることが出来る。

本考案に使用する不織布は素材として天然繊維、

公開実用 昭和49- 87210

人造繊維、合成繊維、或はガラス繊維等で作られたものを必要に応じて自由に使用し得るが通常ニードリング不織布を使用する。不織布の厚さは防音の要求程度により異なるが通常8~10ミリのものを用いるのが好ましい。

又空気層5を決定するエンボス加工布1のエンボスの深さは10ミリ~100ミリ程度、通常40~60ミリのものが好ましい範囲である。

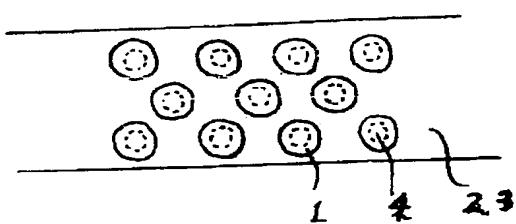
上記の如き3枚の不織布と内在する空気層5により構成された本考案の吸音板は著しく音の伝播を妨げ全體としてすぐれた吸音効果を示すものである。

4. 図面の簡単な説明

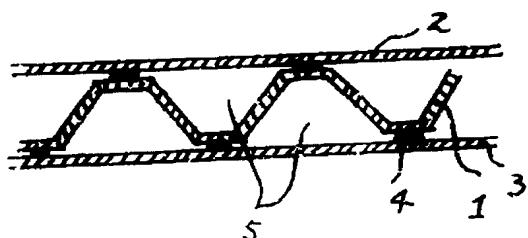
第1図は本考案の吸音板の1例の表面に平行な断面図であり、第2図はその部分拡大縦断面図である。

- 1 ……エンボス加工された不織布
- 2,3 ……は上下面に接着せる不織布
- 4 ……1と2,3の接合部
- 5 ……空気層

第1図



第2図



87210